

# 図書館だより

## 大橋川合戦の巻



島根県立図書館長 白枝祥男

戦争が歴史と政治の一こまなら、子どものケンカは文化の一つである。昔の子ども達はよくケンカをしたものだ。一対一、町対町あるいは学校対学校で。武家の娘だった祖母は教えてくれた。「ひたいから血を流してもあとでごにコブをつくるな」と。

昭和20年は終戦の年である。松江大橋にはルーズベルトの顔が、新大橋にはチャーチルの顔が画かれ、踏みつけられていたが、それも消去され、英軍が進駐して来る直前の、秋のとある日大橋川をはさんで南北両岸の子ども達による一大合戦が発生した。

大橋川北岸では母衣の子は強かった。とりわけ私の属する東本町ボロ・グラズ軍団は。一方南岸では雑賀の子は勉強もできたが、ケンカも強かった。

発端はささいなことであったが、伝令が各校区へ走り、白潟対母衣の小ぜりあいが南軍対北軍の全面戦争へと、エスカレートしたのだ。最前線部隊の私は、遠距離戦用の石ころをポケットにつめ、近距離戦用の竹を手にし、肉弾戦用のボロ下駄をはいて勇躍馳せ参じた。

敵軍は新大橋南詰の石炭置場に立て籠り、

コークスを雨あられと投げてきた。我が北軍としては、南軍に雑賀マチモンが入る前に敵を叩く必要があった。私たちは石を投げ終ると上級生を先頭にかん声をあげながら、竹でなぐりかかった。相手はじりじりと下がった。しかし、ついに南の最強軍団・雑賀党が参戦して来た。戦争はこう着状態となった。それでも東本町軍団の正面は優勢であった。

その時突然、南軍前線から黒マントをひるがえした子が現われ、我が副将に体当たりを食わした。彼は「ヤラレタ」と言って倒れた。肥後守で刺されたのだ。薬屋の子が呼ばれメンタムを付けた。右腹部の傷は軽く、かすかに血の跡があった。我が軍は負傷者を守りつつ、橋の中程まで撤退したが、さすがに敵軍は深追いはしない。

南軍の大将が出て来た。「モウヤメエカ」と言った。北軍の大将は「ソゲスウカ」と答えた。両軍の子ども達は一せいに家路に着いた。

西の方、暮れなずむ宍道湖の空に、カラスが二・三羽翔んでいた。あれから50年の歳月が過ぎ去った。

# 闇見の国を歩く

島田妙子  
(安来市)

「出雲国風土記」を読む会は、毎月第二金曜の午後開かれています。

733年に出来たこの本は、全国で作られたはずの「風土記」の中で、現存する唯一の完本であることは皆様よく御存知です。島根女子短大の藤岡先生が加藤義成先生校注の「出雲国風土記」をテキストにして、毎回豊富な知識そのままで、あちこちに脱線しながら面白おかしく講義されます。全部読み終えるのに2年以上かかりますが、もう10数年も続いている名物講座で年々受講者が増えていますし、初回からの残留組もある程です。

教室の講義だけでなく、本を手に風土記巡りをしましょうと始まったのが歩く会で、

年一回行われ、10月17日「島根郡闇見の国を歩く」で9回目となりました。

今回はお祭り準備中のくらみ社を皮切りに、弁慶島を右手に見て長見神社、枉北地、千酌の爾佐神社、加賀神社等々を巡り三殿併立の佐太神社を打止めに帰りました。車中で藤岡先生と加島さんの丁寧な説明が続いたのはいう迄もありません。

一步足を踏み出せば、1200年以前の世界が手の届く所にあるという土地、風土記の中の神社がそのままに残っているという感動。今年もしっかりとその幸を再認識した楽しい一日でした。

(「出雲国風土記を読む会」受講者の方から寄稿いただきました。)

## < 県立図書館郷土資料モニター > 連絡会議 開催

平成6年度連絡会議が7月22日(金)開催され、31名の出席者により活発な意見交換がありました。

郷土資料モニターは島根県関係の資料を網羅的に収集するため、各市町村67名の方にお願いし、地域資料の発行状況、古文書類の発見等、種々の情報を提供していただいている。今回は最新情報とあわせて、昨年に続き当館未所蔵の旧町村誌、地域誌の収集と、「旧島根県史」編さん時に使用された古文書原本の現在の所蔵者調査をお願いしました。

## < 「松江藩郡奉行所文書」整理作業 > 4年目終了

平成3年度より始まった、国立史料館安藤正人助教授による整理作業が4回目を迎え、今年も10月11日(火)~13日(木)、行われました。

「郡奉行書文書」は今まで、一括して「御徒文書」として保存されていましたが訴訟関係等を扱った郡奉行所の文書は独立して整理保存することになりました。藩政時代の原形を留める数少ない貴重な資料です。



# ☆受賞おめでとうございます☆

—長年にわたりありがとうございました。今後のご活躍をお祈りいたします—

◎(社団法人)読書推進運動協議会より表彰

[全国優良読書グループ]

矢上母子会読書会（石見町）代表者

野上恵子、昭47年発足、成人読書会

◎島根県読書推進運動協議会より表彰

[優良読書グループ]

・比田読書会（広瀬町）代表者

横山玉能 昭45年発足、成人読書会

・月照寺読書会（松江市）代表者

古川久江 昭48年発足、成人読書会

・お母さんの読書会（東出雲町）代表者

門脇文栄、昭62年発足、成人読書会

・法田子ども会（美保関町）代表者

福間 雄 昭61年発足、子供読書会

・市木子供読書会（旭町）

代表者、向井千恵美 昭62年発足

・塩治公民館親子読書会（出雲市）

代表者、小村照子 昭52年発足

・仁多町中央公民館親子読書会（仁多町）

代表者、内田いずみ 昭63年発足

◎文部大臣より表彰

[社会教育功労者]

白枝祥男（県立図書館長）

◎日本図書館協会より表彰

[図書館功労者]

小池美佐子（県立図書館読書指導員）

昭56年から従事

## 図書館ってどんなとこ？

### —郷土資料—

郷土資料室は、郷土（島根県）の事について書かれている資料を収集し、問合せや利用に供しています。

収集しているのは、本の形ばかりでなく、古文書・新聞・雑誌・広報・条例・規則・地図・写真・パンフレット・ビデオテープ・マイクロフィルム資料などいろいろです。

また、郷土出身者の著作を「郷土人文庫」として、小泉八雲関係の資料を「ヘルン文庫」として収集しています。

郷土に関する問合せは、小学生からお年寄りまで幅広い利用層があります。

小学生は、郷土学習で郷土の産業・歴史地理等を調べ、中学・高校生は、郷土に関する特定のテーマについて、例えば近年は、環境に関する調査が多く、宍道湖・中海問題やゴミ処理についての問合せもありました。

大学生は、それぞれの研究テーマによっ

島根県に関する資料、島根県に関する調査のお問合せは、郷土資料室へどうぞ。

て、統計書や論文等を調べます。一般の人は、仕事に関する調査や個人の家の歴史、地域史研究の調査等、利用はさまざまです。

郷土資料は、貸出コーナーのほかは貸出しをしていませんが、それは、来館者にいつでも資料を提供するため、また、一冊しかない貴重な資料の保存のためです。古文書資料の中に、松江藩士の家を記録した「列士録」がありますが、家のルーツを探るだけでなく藩政資料として貴重なものです。これら郷土資料は地域の文化的財産です。未来へ文化をつなげるため、収集と保存にご協力ください。

郷土資料収集に御協力ください

—団体・個人出版の図書雑誌の寄贈をお願いします—

連絡、送付先

島根県立図書館郷土資料担当

(TEL) 0852-22-5742

(FAX) 0852-22-5728

# 行事予定

12月



4 日	5 日 休館日	6 火	7 水 親子で絵本を 読む会 15:00~15:40	8 木 万葉集を 読む会 14:00~16:00	9 金	10 土 古文書を読む会(庵) 14:00~16:00 子供読書会 10:00~11:30
11	12 休館日	13 成人読書会 13:00~15:00	14 親子で絵本を 読む会 15:00~15:40	15	16	17 古文書を読む会 (中世) 13:30~15:30
18	19 休館日	20	21 親子で絵本を 読む会 15:00~15:40	22	23 休館日 (天皇誕生日)	24
25 3枚のつどい 10:30~11:40 (3:30~14:40)	26 休館日	27	28 ←	29 年末 12/28~1/4	30 休館日	31

○館内展示 …… 子どもの本にみる干支の本

1月

1 日 (元旦)	2 月 年始	3 火 休館日	4 水	5 木	6 金	7 土 古文書を読む会 (近世) 14:00~16:00
8	9 休館日	10 成人読書会 13:00~15:00	11 親子で絵本を 読む会 15:00~15:40	12 万葉集を読む会 14:00~16:00	13 出雲国風土記 を読む会 13:00~15:00	14 子供読書会
15 休館日 (成人の日)	16 休館日	17	18 親子で絵本を 読む会 15:00~15:40	19	20	21 古文書を読む会 (中世) 13:30~15:30
22	23 休館日	24	25 親子で絵本を 読む会 15:00~15:40	26	27	28
29	30 休館日	31 休館日				

○館内展示 …… 世界推理小説展



※各種講座は講師の方の都合により変更する場合もあります。

## 利 用 案 内

### ●休館日

毎週月曜日・国民の祝日  
毎月末日(月末が日曜日にあたると  
きはその前日)  
年末年始 12月28日~1月4日  
図書整理休館(春・秋、それぞれ10日間)

### ●開館時間 9時~18時

子ども室は火曜日~土曜日は13時~18時  
ただし、小・中学校の週5日制導入に伴い、  
第二土曜日は午前9時から開きます。

### ●貸出し

冊数…5冊以内  
期間…15日

編集発行 島根県立図書館 松江市内中原町52 TEL 0852-22-5725

発行日 平成6年11月30日

FAX 0852-22-5728